「さすてな京都」ホームページにて、広報誌のバックナンバーをお読みいただけます!



第4号 工場見学の魅力を大特集!

「どんなところかな?」と気になる方にも。 見学ツアーに参加した後の振り返りにも。



第5号 展望台からの眺望を誌面で体感

高さ66mからの魅力的な景色をお伝えします。でも、実際に来て上って体感していただくほうがよいです!



第12号 お仕事人に迫る特別インタビュー

大好評だった「さすてな京都」と「南部クリーンセンター」で働く人々に焦点をあてたインタビュー集。Facebookとも連動しています。

event calendar





2月 February

月	火	水	木	金	土	В
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11建国記念日	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23 天皇誕生日	24	25	26
27	28				-1	

3月 March

月	火	水	木	金	±	В
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21春分の日	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

※イベントや工場見学などは、中止・内容変更を行う場合があります。また、 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、一定の制限を設けることがあります。

SNS

「さすてな京都」の情報は随時SNSで更新しています!











工場の見学について

・自由見学

個人・グループを問わず予約なしで自由に見学ができます。解説員は付きませんが、希望者には 見学を補助するタブレットをお貸しします。

・定時ツアー

午前10時、午後2時から、解説員がご案内する予約不要の見学ツアーを開催します。(ただし、団体見学予約が入っている場合は催行できない場合があります。その場合は、自由見学をご利用ください。)※10名以上のグループについては、見学応対の都合上、事前予約をお願いしております。

団体予約方法

京都市内の小学校ほか、一般の団体(10名以上のグループ)に向けて、解説員がご案内するツアーを開催します。※団体見学は原則10名以上から受付けます。9名以下のグループや個人の方は、定時ツアーや自由見学でご見学ください。

【予約方法】

- 1.希望日の前日までに「さすてな京都」へ仮予約の電話(TEL:075-606-2548)
- 2. 申込書に必要事項を記入の上、FAXかメールでさすてな京都に送付
- ※申込書は「さすてな京都」のWEBサイト「工場見学予約」ページの「申込書ダウンロード」から

·開館時間:9:00~17:00

(足湯は~16:30・天候により、閉鎖する場合があります)

・休 館 日:水曜日(水曜日が祝日の場合は翌平日)

年末年始

・入館無料



アクセス方法はこちらから





シャトルバスイメージ

無料シャトルバス(日曜日)

「さすてな京都」玄関前

↓ ↑

市バス「横大路車庫前」

↓ ↑

京阪電車「中書島駅」

↓ ↑

京エコロジーセンター/ 京都市青少年科学センター

↓ Î 地下鉄「竹田駅」東口



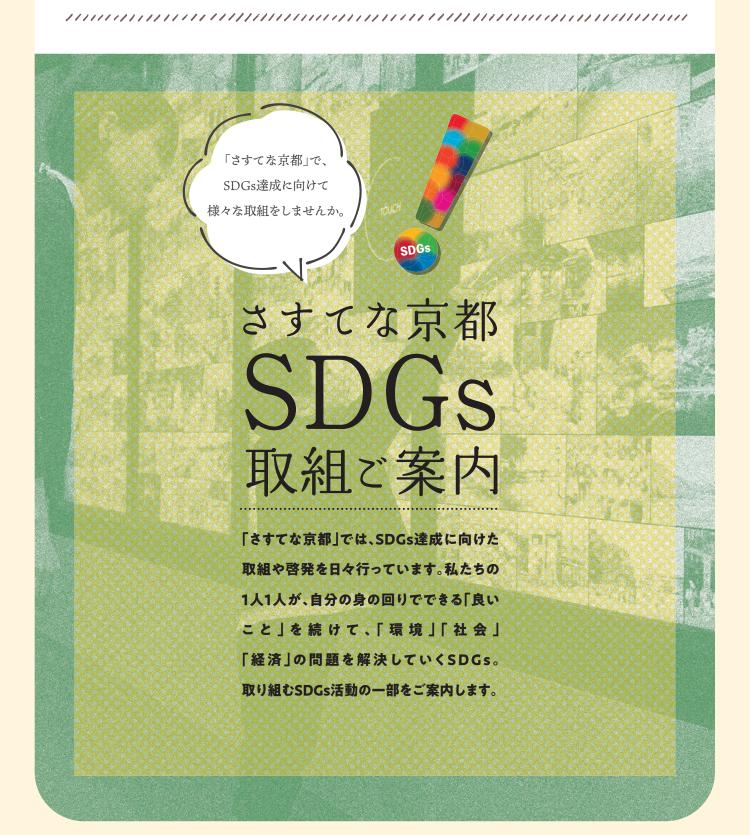
京都市伏見区横大路八反田29番地
TEL 075(606)2548 FAX 075(606)2549
info@sustaina-kyoto.jp https://sustaina-kyoto.jp
(運営受託者:京都市南部クリーンセンター環境学習施設運営グループ)



さすてな京都により風

VOL.14 ^{発行:令和5年2月}

京都市南部クリーンセンター環境学習施設「さすてな京都」広報誌



「さすてな京都」で、 SDGs達成に向けて取り組みませんか。

さすてな京都 SDGs取組ご案内



SDGsの17の目標は、「環境が守られる→社会が成り立つ→経済が発展する」というウェディングケーキのような3段階で見立てられることもあります。 これは、全ての土台に「環境」があり、その上に「社会」「経済」が成り立っていることを表しています。

どれか一つだけ伸ばす、達成すればよいというものではありません。

「さすてな京都」では、ごみ減量はもとより、生物多様性、再生可能エネルギー、環境面から見た地域の歴史など、重なり合う環境問題を扱っております。 皆さまに丁寧に解説することで、SDGsの基本である「まずは自分の身の回りのできることから」行動を開始し、それを「ずっと続けていけることが大切なんだ」と気づいていただけるようなプログラムを目指しています。

なんだ」と気づいていただけるようなプログラムを目指しています。





























※SDGsウェディングケーキ ストックホルム・レジリエンス・ センターが考案し、2016年に 『EAT Food Forum』で、環境 学者ヨハン・ロックストローム 氏と環境経済学者パヴァン・ス クデフ氏により、発表されまし た。図は同センターHP掲載より。



環境学習プログラムの実施

SDGsの大切な要素の1つ、「ずっと続けられる」こと。「さすてな京都」では、無理なく「環境にいいこと」を考え、実践していただけるように、「学びは楽しい、面白い」と思っていただけるプログラム作りを目指しています。

環境関連情報の充実

「環境に良いこと」や「SDGs達成」に向

けて私たちが行動するためには、「今

世界はどうなっているのか」「どんな

未来を目指しているのか」を知ること

が大切です。「今」を知って「未来」を考

え、実践する。そのきっかけになる情

報が、「さすてな京都」にはあります。



子ども学習プログラム「さすてな☆子ども発電所」の様子

7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに

大規模工場の案内・解説

「『大規模な工場』で『最先端の技術』を間近に見学できること」は、「さすてな京都」の特長です。私たちが見学時に必ずお伝えしていることがあります。「最先端の工場があるから安心したとしても本当はこの工場がいらない社会にしたいよね!一緒に目指しましょう」と。

ぐっと間近で。



小学生見学の様子

8 働きがいも 経済成長も

環境に携わる担い手の育成

「環境学習施設」である「さすてな京都」の役割の1つは、「持続可能な社会を構築する人材を育むこと」です。 小学生から大学院生まで、多くの皆さまが「環境」を学びに来られますが、同時に、私たち職員も「担い手」として日々成長しなくてはなりません。私たちも、ご来館される皆さまと一緒に成長を目指します。

将来の担い手同士、ともに成長を。

経済



大学生インターンシップ受入の様子

「今」を知ることが、

「これから」を考える材料に。



1階「京都の環境れぽーと」コーナーでは、 京都市の最新の環境情報を掲示しています



企業・団体との多様な連携

企業・団体と連携し、環境プログラムを実施しています。企業から端材の提供を受ける子ども学習プログラム「ゴミラプロジェクト」もそのひとつ。皆さまの自由な発想の下、続々と生み出される作品は、ごみ減量、リサイクル、リユースの気付きにもなっています。



工場などでモノが作られる際に出る端材を活用して工作をする 「ゴミラプロジェクト」の様子

健やかな活動から

「環境」に触れる。考える



地元の自然を生かした活動

「さすてな京都」では、敷地内にあるビオトープ等を活用し、自然に触れながら「生物多様性」の大切さを学んでいただくプログラムを実施しています。また生きものの不思議を解説するプログラムを行うことで、参加者のみなさまには自然環境を守りたいと感じ行動していただきますよう取り組んでいます。



ビオトープを活用した「自然観察会」の様子